

月刊 やちまなこ

2025. 2.15 発行

No.327

2月号

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



攻 防

シラルトロ湖の氷上に一羽のオジロワシ幼鳥が舞い降りる。すかさずオオワシの成鳥が威嚇して追い払いに。逃げたオジロワシ幼鳥は遠くへ去らずに一定距離を保って着地。オオワシ成鳥も深追いはしない。このような攻防を人間目線で見せると、オオワシ成鳥がオジロワシ幼鳥を一人前に鍛え上げているように映る一コマであった。



塘路フィールドノート【1 / 15～2 / 14】

【野鳥】

今シーズンは例年になく少雪で冷え込む日数も少ないようです。厳冬期のはずが春なのではと錯覚する日も多い印象です。夏鳥も冬鳥も留鳥も同じ日に見られるという不思議な光景も。



カワアイサ（シラルトロ湖）
冷泉橋付近でよく見かけます。晩秋の大集団とは違って小グループで行動。カモ科



オオハクチョウ（シラルトロ湖）
盛んに水草を食べている様子。よく見ると首にヒシの実がくっついてます。カモ科



ヨシガモ（シラルトロ湖）
繁殖期に鎌状に下垂した三列風切と首輪が良く目立つオスの生殖羽。カモ科



タンチョウ（塘路湖）
給餌場に行かずに塘路湖周辺の湧水を見つけて餌探しする、これぞ野生の姿。ツル科



アオサギ（塘路湖）
横一列に並んで塘路湖の氷上にたたずんでいる姿をよく見かけます。サギ科



ダイサギ（シラルトロ湖）
本来は夏鳥のはずですが、毎年厳冬期にも見られるようになるのでしょうか？サギ科

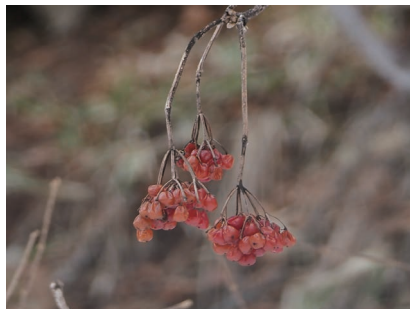
【植物】

既に種（果実）を落としている厳冬期かと思いきや、意外にもしぶとくぶら下がっているものも目立ちます。このまま春まで残っていることはないと思いますが、この時期に意外な色彩を見せる植物は何とも不思議です。



ヤマブドウ（山葡萄）

この秋は豊作でした。強風にも耐えてしぶとく木にぶら下がってます。ブドウ科



カンボク（肝木）

実のあまりの苦さに別名「鳥喰わず」ですが、シメなどの小鳥は食べます。ガマズミ科



メギ（目木）

元々北海道には分布しておらず、園芸種として持ち込まれ定着している。メギ科

◎塘路湖水上市ノースューハイク開催！

1月18日、全面結氷した塘路湖の氷上をスノーシューで歩くイベントを実施しました。氷丘脈（御神渡り）をゴール地点とし、その不思議な造形と、塘路湖に点在するアイヌのチャシの地形を観察するのが目的。

遠くに白化粧した雌阿寒岳の山容が見える青空の下、スノーシューを装着して結氷した塘路湖畔に下り出発。スタートして20分ほど歩くと樹上で休むオオワシのペアの姿を確認。目的地までの移動中、積雪がほぼないために氷に亀裂が入る時に響き渡る音を聴きながら、距離にして2.5 km、1時間ほどで氷丘脈（御神渡り）に到達し、蛇行して割れた氷の造形を十分に観察できました。加えて周辺のアイヌのチャシ跡3カ所の位置を解説し、その役割や用途についての時代背景を説明しました。北東の風がやや強かったものの、快晴の塘路湖で氷上歩きを満喫したイベントでした。



参加者 12名

◎塘路湖の氷丘脈（御神渡り）2025

今シーズンもできました。しかし、1月中旬までは良かったのですが下旬と2月初めに重くて大量の積雪があり、氷丘脈は埋もれてしまいました。わずかに氷の蛇行が痕跡として確認できる程度です。来シーズンに再び見事な氷の造形が現れることを期待して待つしかありません。



1月中旬



2月中旬

◎シラルトロ湖・蝶の森スノーシューハイク開催しました！！

2月初日に茅沼蝶の森からシラルトロ湖へスノーシューでトレッキングしながら氷の造形や遺跡遺構、天然記念物観察を行いました。

上空をオオワシが旋回する快晴の下、シラルトロ第2チャシの環濠からスタート。シラルトロ湖を左側に見ながら森の中を歩き、昭和初期の炭焼き小屋の遺構であった窪地を通してシラルトロ湖へ降り立ちました。広大な雪原となった湖を移動し、折り返して北岸近くの氷丘脈（御神渡り）地点に到達。近くではタンチョウのつがいやダイサギなども現れてくれました。駐車場へ戻ったタイミングでSL冬の湿原号が通過しイベント終了です。

参加者 13名



3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

晩冬の塘路湖の氷上を歩こう

[日 時] 3月1日（土）10時～12時

[定 員・参加料] 10名 参加料 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

温根内の歴史を探訪しよう

[日 時] 3月16日（日）10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:10). 1/31(6:38,16:32). 2/14(6:20,16:51)

～指導員の独り言～

■富良野方面のインバウンドによるオーバーツーリズムがすさまじい。路上駐車は観光地だけではなく、バックカントリーのための山岳エリアにまで見られる光景だ。山でも温泉でも外国語が飛び交い、予約殺到して国民宿舎に日本国民が宿泊できないのはここ数年の風物詩。かたや塘路湖周辺の賑わいは、土日のワカサギテントとSL通過時刻くらいのもの。まだ世界にばれていないのだ、と思いたい。たぶん、おそらく、知られていない（ホントか？）。
(M)

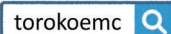
釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004

E-mail：emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram  torokoemc

開館時間：10：00～16：00

（4～10月：17：00まで）

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料